

# 有限会社すこやか

【通所介護事業、居宅介護支援事業等】

商工会議所のイチオシ

「心のカード」で  
通じあう

LEADER

代表取締役 國澤 一男 氏

東京都江東区にある、有限会社すこやか。社員がつくる「働き方検討委員会」を中心に、仲間同士で社内ルールを決める、社員による社員のための会社。

私たちは、地域で一番真面目な会社として、利用者様の「心の自立」支援を、最も大切な使命と心得ています

## ■背景・きっかけ:

國澤社長は第1回ケアマネジャー試験に合格後、知人の訪問介護を行う企業に勤務した。当時は江東区内にまだ十数か所しか通所介護事業所はなかった。仕事をする仲間にはパートタイム契約の方が多く、家庭との両立に悩む方もいたため、皆で出資しあって現在の有限会社すこやかを設立するに至った。

國澤社長には、社員には安心して働いてほしいという思いがあり、まず第一に全社員の正社員化を行った。また、社員の家庭の状況に合わせて、柔軟な勤務体系がとれるよう、雇用形態・労働時間の変更を実施した。小さな子どもがいる社員は研修や夏休み期間の業務に子連れで参加できる等、様々な先進的取り組みを導入している。

こうした会社のルールは社員が決めるものという國澤社長のリーダーシップのもと、「働き方検討委員会」が設置され、社員同士が話し合い、職場改善を進めている。



江東区優良従業員表彰の様子  
同社からは6人が表彰された

## ■社内の取組内容・効果:

働き方検討委員会では、就業規則の見直しから働き方改革、服装から使用する履物まで、一般社員によって幅広いテーマが話し合われている。当事者となって決めたルールなので、自発的にルールの周知と順守が行われる風土となっている。委員会の考えを体現した「すこやか心のカード」には、会社の基本理念や仲間同士で決めた信条が記載されている。このカードに基づいて社員は1か月に一度、心の自己評価を行い、会社への要望があれば報告することになっている。記載された内容には社長をはじめとする役員が目を通し、役員や管理職が本人と面談を行う。加えて、年に一度、働き方アンケートを実施し、自発的な職場改善を促している。役員・管理職と一般社員との距離が近く、意見伝達の活発な、非常に風通しの良い職場づくりが行われている。

國澤社長は自社の社員に「会社の財産は、気遣い、思いやりのある職員で、基本理念実現のため、ともに歩もう。」とメッセージを送っている。特に若手の方に対しては、挑戦する心でぜひチャレンジし、利用者・家族の方々に信頼される社員になってほしいとのこと。

## ■今後の展望と課題

すこやかは、全社一丸となって他社との差別化等の工夫を図り、より利用者には選ばれる会社を目指していく。サービスの拡充と職員の負担増は表裏一体になっている部分もあり、仕事のために社員が犠牲にならないよう、密なコミュニケーションも心掛ける。また、東京都ではじめてただ一社、仕事と介護の両立推進部門でワークライフバランス認定企業として認定されたことから、同じ悩みを抱えている区内中小企業の皆さんに、自社の蓄積されたノウハウをお伝えするため、セミナーの開催等も検討中。



↑江東区と連携しながら定期的に開催している認知症サポーター養成講座の様子



↑秋の運動会の様子  
同社ではイベントも活発に実施



←忘年会「事業所対抗腕相撲大会」の様子

## 中小企業の実践ポイント

- ▶ 社員による社員のための会社を実現する「働き方検討委員会」を設置し、自発的取り組みを行う
- ▶ すこやか心のカードを使った基本理念の共有と、コミュニケーションの活発化

## 【企業データ】

代表者	代表取締役 國澤 一男	会社設立年	2002年	従業員数	131人(うち女性98名)
本社所在地	東京都江東区北砂5-17-36	ホームページ	http://sukoyaka-home.com/index.html		
事業内容	通所介護事業、居宅介護支援事業、福祉用具貸与・販売				